

## 統合国際深海掘削計画（IODP）会議報告書

提出年月日：平成21年7月25日

氏名：EDP日本人委員（浅沼，宮入，田村，渡辺，佐久間）

会議名	第9回EDP会議
期間（移動を含む）	平成21年 7月13日 ～ 平成21年 7月18日
用務地（国・都市）	ルーレオ，スウェーデン
目的	主要議題 1. INVEST White Paper の作成 2. Technology Roadmap V.3 の完成 3. ED Proposal のレビュー 4. Vice Chair の選出
会議内容	<p><u>会議内容</u></p> <p>第9回EDP会議(EDP#9)は、ルーレオ（スウェーデン）、Elite Hotel で7月15日～17日に開催された。ホストはMaria Ask 委員である。本会議には日本より5名、米国より5名、欧州より4名のパネル委員、IODP-MI から1名が参加した。その他、オブザーバとして7名（うち日本人3名）が参加した。</p> <p>本会議の最も主要な議題は INVEST White Paper の作成であった。INVEST 会議における本 White Paper の位置づけ、INVEST 会議への EDP の対応、White Paper の執筆等、関連する議題について約1日の時間をかけて討論、作業が行われた。</p> <p><u>INVEST White Paper</u></p> <p>IODP-MI からの依頼を受け、2009年9月にブレーメンで開催される INVEST 会議へ向けて White Paper を執筆した。ここでは、5つの課題（Moho, Geohazard, Subsurface biosphere, Coring Virtual staff）について、それを実現するための技術の現状と目標達成法について述べられている。本 White Paper はメールを通じてパネルメンバー間でブラッシュアップし、8月末までに INVEST Steering Committee へ提出するとともに Web へ掲載することとした。また、STP のコメントを得ることとした。</p> <p>2009年9月に開催される INVEST 会議における EDP INVEST White Paper の取り扱い、技術関連セッションへの EDP の寄与について検討した。その結果、(a) Greg Myers が本 White Paper の内容に基づき Keynote Speech を行う、(b) EDP の活動および EDP Technology Roadmap に関するポスターを会場で掲示する、(c) 技術関係の各セッション Chair へ White Paper と EDP Technology Roadmap を事前配布することとした。</p> <p>EDP#8（上海）での合意に基づき、White Paper 草案を執筆した委員がいたが、その内容は、今回作成した White Paper には直接的には反映されていない。しかしながら、White Paper 中に謝辞を入れ、草案を執筆した各委員の寄与を明示することとした。</p> <p><u>Technology Roadmap</u></p> <p>EDP#8（上海）で作成した EDP Technology Roadmap V.3.0 の内容を再検討し、小変更を加えた。その後、この版を公式リリースすることを承認した。本 Technology Roadmap には各技術開発要素の関連性、技術開発順序および STP Roadmap との関連性を示す図が添付されている。本 Technology Roadmap は IODP の Web サイトで公開される。EDP は今後も Technology Roadmap のアップデートを続けることとした。（EDP Consensus 0907-11）</p> <p><u>ED proposal のレビュー</u></p> <p>本会議では1件の SOC ED proposal (Wireline Hydraulic Testing and Imaging Tool, ED-2011-1A) と2件の non-SOC ED proposal (Replacement of the Magnetic Susceptibility Sonde, ED-2011-1B, Development of CFRP Riser Pipe for 4000m Deep Waters (CFRP),</p>

ED-2011-2A) のレビューを行った。また、EDP#9 で External Review を行うこととした proposal (Development of the Deep Rock Stress Tester (DRST), ED-2010-1B) のレビュー結果が報告された。今後、EDP は SOC および non-SOC ED proposal の両者についてレビューを行うこととした。(EDP Consensus 0907-8, 9)

EDP は IODP-MI に対して、全体のレビュー期間を延長することなく External Review を実施可能な Review Process について検討するよう依頼した。IODP-MI は EDP#10 で素案を提示することとした。(EDP Consensus 0907-10)

#### Vice Chair の選出

EDP は EDP#10 から 1 名の chair, 2 名の vice-chair 制を取り、浅沼委員と Maria Ask 委員 (Sweden) の 2 名が vice-chair となることを SPC へ提案することとした。また、今後の Chair rotation rule については SPC の判断を待つこととした。(EDP Consensus 0907-12)

#### Engineer Development の総括に関する同意

EDP は IODP-MI が予算によらず IODP に関連する技術開発を総括することに同意した。(EDP Consensus 0907-13)

#### その他

- \* EDP#8 の Minutes を承認した。
- \* 8 月 17~19 日に開催される SPC パネル会議(キール, ドイツ)へ Bill Usller 副議長が出席することを認めた。
- \* 8 月 17~19 日に開始される STP パネル会議(濟州島)へ浅沼委員をリエゾンとして派遣することとした。
- \* 11 月 16~19 日に開催される SSEP パネル会議(オーストラリア)へリエゾンを派遣することとした。(出席者未定)
- \* 宮入議長, Roland Person 委員, Dick von Herzen 委員がローテートオフした。
- \* EDP#10 を 2010 年 1 月 13~15 日に仙台で開催することとした。(ホスト: 浅沼委員)
- \* EDP#11 は 2010 年 7 月 14 日~16 日に(米国)で開催予定であることが報告された。開催候補地はハワイまたはサンタフェである。

備考

ED : Engineering Development

#### 事務局又は J-DESC へのご要望・コメント等

- \* 会議前日に日本人参加者(含オブザーバ)でミーティングを行い、Chair, Vice-chair, MI 間の会議前日打合せ結果を踏まえて、情報交換、意見交換を行うことが共通認識のもとで会議を円滑に遂行するために重要である。
- \* 議長の推薦等、J-DESC から IODP-MI への重要連絡事項については、IODP-MI から受領した旨の確認を取り、そのことを EDP 事前打ち合わせ会等で御報告頂きたい。
- \* 新規に EDP 委員となった日本人のアクティビティを上げるため、委員予定者に対する事前経験・講習プランについてパネル委員と J-DESC, 事務局との意見交換が必要である。
- \* 将来の技術開発重点分野を検討し、今後、委員となるべき人材を早期にリストアップすることが重要である。
- \* IODP-MI の東京移転に際して、組織および運営方法の変更が予想されているが、各パネルの日本人関係者からの意見を吸い上げ、現状の問題点・課題を改善することが必要であると感じた。